

教科名	数学	科目名	数学 I	履修クラス	1 年全クラス	
				担当者	加藤 慶 結城 徹	福島 信昭
使用教科書		「数学 I」・東京書籍			履修単位数	3
副教材等		「ニュースコープ数学 I + A」・東京書籍				

学習のねらい・育てたい力・目標	評価の観点・評価方法など
科学技術の基礎である高校数学のもっとも基本的な部分を学習し、数学的な感覚を養うとともに発展的内容にも対応できる学力つける。	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 定式に沿って、単純に発想するのではなく、自由な発想で問題解決に取り組む者を高く評価する。</li> <li>● 出席状況、平常の学習態度を考慮して、個々の能力を適正に評価する。</li> <li>● 個々の問題にとらわれず、問題を通して基礎概念を深く理解しているかを観る。</li> </ul>

年 間 授 業 計 画			
月	予定 時数	単 元	学 習 内 容 ・ 学 習 活 動
4 5	中間 考査 まで 1 8	整式の加 法・乗法 因数分解 実数 平方根	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 整式の取り扱い・因数分解の修得と応用</li> <li>● 実数・有理数・無理数などの概念を理解する</li> <li>● 1次不等式の解法の修得と応用</li> </ul>
6 7	期 末 考査 まで 2 1	1次不等式 2次方程式の解 法・解の公式 2次関数とその グラフ	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 平面座標と関数、そのグラフの意味を理解する</li> <li>● 方程式・不等式の問題演習を通じてその意味を把握する</li> <li>● 2次方程式の解の公式・解の判別式とその応用</li> <li>● 2次関数の意味とそのグラフを理解する</li> </ul>
9 10	中 間 考査 まで 2 1	2次関数の決定 2次関数の最 大・最小 2次 関数のグラフと 2次不等式	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 様々な条件から2次関数を決定する</li> <li>● グラフの応用として、関数の最大値・最小値を求める</li> <li>● 2次関数と2次不等式との関連について理解する</li> </ul>
11 12	期 末 考査 まで 2 1	図形と計量 三 角比 正弦・余弦・正 接 三角比の相互関 係	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 直角三角形の相似と三角比の基礎を学ぶ</li> <li>● 川幅や木の高さなど、三角比の実世界への応用</li> <li>● 三平方の定理と、三角比の相互関係を学ぶ</li> </ul>
1 2 3	学 期 末 考 査 ま で 2 4	三角比の拡張 正弦定理 余弦 定理 三角形の 面積	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 三角比を拡張しながら、相互関係および諸定理を扱う</li> <li>● 三角比を応用した様々な図形の面積を求める</li> </ul>

担当者からのメッセージ (授業の受け方・家庭学習の仕方・受験勉強の仕方等)
<ul style="list-style-type: none"> <li>● 公式のたんなる当てはめではなく、基礎概念を根本から理解する</li> <li>● 例題・問題演習など、根気強く丁寧にやる</li> <li>● 家庭学習：数学は毎日3時間勉強する。具体的には、「チャート式数学 I (いわゆる赤チャート)」・数研出版の問題を40題(80題は厳しいが40題なら可能である)やる。これを習慣とすれば、駿台模試で偏差値62以上、他の模試では70以上取れる力が確実につく。</li> </ul>